

第 29 回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

【発表No. AO1】

論文No.	AO1
タイトル	銀座最大の商業施設に接続する地下通路の非開削工法での取り組み
所属・名前	鹿島建設株式会社 諸橋 敏夫
キーワード	① 地下通路 ② シールド工法 ③ 小土被り
<p>都市部の再開発事業において施設建築物と既存地下通路や地下鉄駅等と新設地下通路を整備し、接続するケースが増加している。新設される地下通路工事では、一般的に土被りが浅いために開削工法を適用することが多い。しかし、地元沿道への配慮や施工条件の制約により非開削工法が採用される場合がある。2017年4月20日、銀座エリア最大の商業施設である「GINZA SIX」がグランドオープンした。この商業施設には、地域貢献の一環として地下鉄銀座駅及び東銀座駅から晴海通りの既存地下通路を経て「GINZA SIX」に直接接続する地下連絡通路を整備することが計画され、地元沿道の要望により、非開削工法であるシールド工法を採用することとなった。本報告は、これまでの弊社の非開削工法による地下連絡通路工事の事例を数例紹介するとともに、今回施工を行った「GINZA SIX」に接続する地下連絡通路整備工事のシールド工事において無事到達完了した施工実績を報告する。</p>	